資料①

くまもと森都心プラザリニューアルについて

産業振興課

1．新たなビジネス支援施設について

【新たなビジネス支援施設の特徴】

・従来の経営相談や創業支援に加えて、新たな市場を開拓し飛躍的な成長を目指す起業家等の発掘・育成に取り組む本市初のスタートアップ支援施設です。

・成長ステージに合わせた支援プログラムや起業家コミュニティの形成を図るなど、本市スタートアップ支援の拠点として、新たなビジネスモデルや新産業創出を目指します。

【新愛称・コンセプト】

・令和４年４月１日よりリニューアルオープン予定のくまもと森都心プラザビジネス支援施設の新愛称について、市民からの名称公募やスタートアップ等へのアンケートを踏まえ、

「KUMAMOTO（クマモト） STARTUP（スタートアップ） CENTER（センター） XOSS（クロス） POINT（ポイント）.」（通称：XOSS POINT.）

に決定いたしました。

・新愛称には『起業を目指すひと、歩みを進めるひと、支えるひと　それぞれの「ひと」がここで交わり、ともに新しい社会を作り出す起点となる場所』という想いを込めています。

【施設イメージパース】



・全体レイアウト



・起業家支援スペース

2．子育て支援施設の設置及び図書館機能の拡充について

・既存の「おはなしの部屋」（読み聞かせ室）に子育て支援機能を備えた「駅前子育てひろば」を併設し、保育士を配置します。

・４階から２階に移転するビジネス支援施設跡に図書館機能を拡充し、書籍の展示面積を広げます。



・子育て支援施設「駅前子育てひろば」

3．関連イベント等の実施について

（1）現地見学会

リニューアル工事完了を記念し、関係者向けの現地見学会を開催します。

日程：令和４年４月５日（火）

（2）リニューアルオープニングイベント

リニューアルオープンを記念し、オープニングセレモニーやトークイベントを開催します。

日程：令和４年４月９日（土）

※（1）（2）とも、詳細は改めてご案内いたします。

4．施設の運営体制について

・従来のくまもと森都心プラザビジネス支援センターの専門家等による支援に加え、新たに配置するメンターによる起業家への実践的なメンタリング等の支援や、ネットワークを活かした関係者への繋ぎ込みの他、プログラム開催を通じた関係者コミュニティの形成など、スタートアップ等の成長段階に応じた伴走的な支援を行います。

施設メンター（一部）

「XOSS POINT.」施設長：髙瀬 章充 （たかせ あきみつ）



◆2018 年につくば市役所にてスタートアップ推進監へ就任。
◆スタートアップ戦略策定、スタートアップエコシステム形成に従事し、つくば市のインキュベート施設である「つくばスタートアップパーク」のコンセプトメイキングや設計へ参画したほか、つくば市の内閣府スタートアップエコシステムグローバル拠点都市選抜へ寄与。
◆2021 年より Socialups 株式会社を創業。南魚沼市起業家育成支援コンサルティング業務を受託し、起業家の伴走支援やアクセラレーションイベントの運営を行う。

インキュベーションマネージャー：上平 健太（うえひら けんた）



◆2006 年度から 2021 年 3 月まで兵庫県庁に勤務、IT 企業誘致やスタートアップ支援、産学官連携に従事。
◆現在兵庫県立大学産学連携アドバイザー兼株式会社 kuniumi 代表取締役として、約 50 社の IT 企業の事業所開設支援、事業ブラッシュアップ等の実績を持ち、首都圏及び関西圏の起業家及びスタートアップ関係者に幅広いパイプを持つ。

コミュニティコーディネーター：工藤　英揮（くどう ひでき）



◆2014 年、（一社）未来会議室の立ち上げに参画し、施設運営やイベント企画運営、マッチング業務に従事。
◆2018 年より熊本発コミュニティ型シェアハウス「Hidamari」の熊本エリアコミュニティマネージャーとなったほか、個人事業主としてウェブ構築、SNS 運用、イベント企画運営、組織構築、マッチング支援や起業支援などを行う。

コミュニティコーディネーター：町野　孝裕（まちの　たかひろ）



◆㈱熊本日日新聞 イノベーション事業室部次長として、コワーキングスペース「びぷれすイノベーションスタジオ」の運営及び、新事業開発を担当。
◆「びぷれすイノベーションスタジオ」の運営及び様々なイベント等の企画、運営等を通じ、市内の行政や民間企業のほか、県内外の個人事業主、スタートアップ人材等に幅広い人脈を持つ。

・県内外から多数のメンターを招聘し、インキュベーションマネージャー・コミュニティコーディネーターを含め、複数人が絶えず常駐する体制を整えます。